



各種ツール 操作マニュアル

T00-02 テーブルフィルター

株式会社 NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記.....	T00-02_0
1.DataNature Smart 全体概要図.....	T00-02_1
2.テーブルフィルターの概要.....	T00-02_2
3.テーブルフィルターを利用するにあたって(前提条件).....	T00-02_3
4.テーブルフィルターの設定.....	T00-02_4
4-1 フィルター条件の設定	T00-02_4
◆データファイルの指定.....	T00-02_4
◆フィルター条件の定義.....	T00-02_6
4-2 テスト実行.....	T00-02_7
4-3 設定済みの条件の編集.....	T00-02_9

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

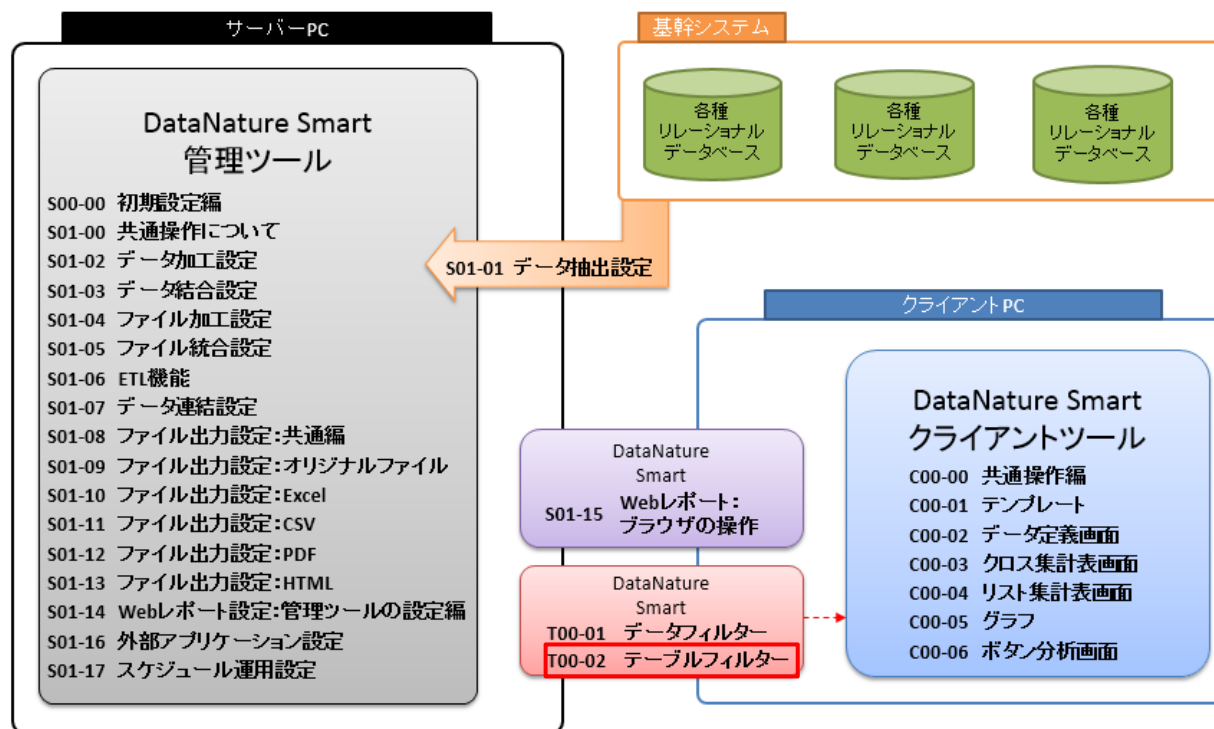
テーブルフィルター
< T00-02 >

CONTENTS

1.DataNature Smart 全体概要図.....	T00-02_1
2.テーブルフィルターの概要.....	T00-02_2
3.テーブルフィルターを利用するにあたって(前提条件).....	T00-02_3
4.テーブルフィルターの設定.....	T00-02_4
4-1 フィルター条件の設定	T00-02_4
◆データファイルの指定.....	T00-02_4
◆フィルター条件の定義.....	T00-02_6
4-2 テスト実行.....	T00-02_7
4-4 設定済みの条件の編集.....	T00-02_9

1. DataNature Smart 全体概要図

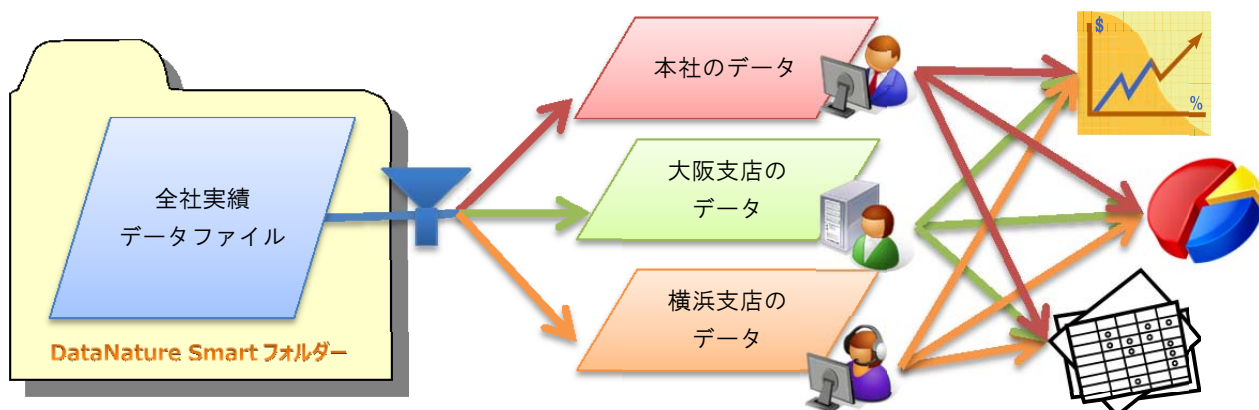
本マニュアルでは、T00-02 テーブルフィルターについて記載しています。



2. テーブルフィルターの概要

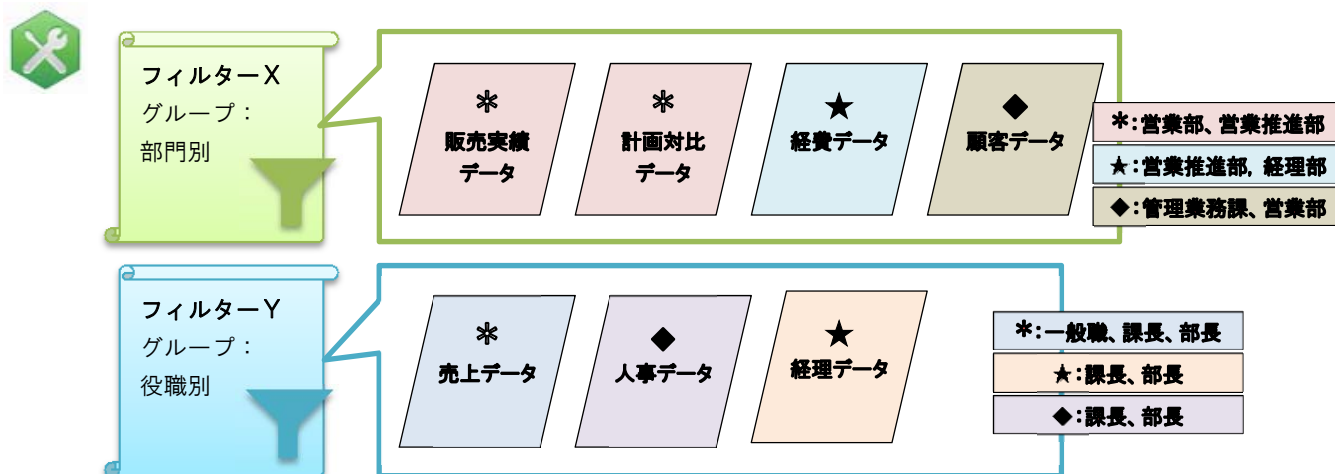
テーブルフィルターは、DataNature Smart のグループ毎にフィルター条件を定義し、ユーザーが所属するグループに許可されたデータに絞り込む機能です。例えば、営業所単位でグループを設定している場合、テーブルフィルターを利用して、ユーザーは全社の実績データから自分が所属する営業所のデータのみをDNクライアントツールに読み込むことができます。

また、任意の条件にてデータを絞り込むデータフィルターやWebブラウザ上で選別したデータをダウンロードするWebボタン(Webレポート機能オプション)との連携も可能です。



テーブルフィルターで限定するデータ項目については、あらかじめ DN 管理ツールで、データとグループの関連付けやフィルターを適用するデータファイルを定義しておきます。

テーブルフィルターを適用した DataNature Smart フォルダー上のデータを DN クライアントツールに読み込むと、自動的にフィルターがかかり、ユーザーが意識することなく必要なデータを利用することができます。



※同一の DataNature Smart フォルダー内にあるデータファイルに対しては、複数のテーブルフィルターを関連付けることはできません。

※ひとつのテーブルフィルターを、複数のデータファイルで共用することが可能です。ただし、フィルター条件に使用されている項目のデータ構成(属性など)や列 No が同じであることが前提となります(項目名称の差異には対応できません)。

3. テーブルフィルターを利用するにあたって(前提条件)

テーブルフィルターを利用するには、あらかじめ、以下の設定が必要です。

◆ DN 管理ツール

- ・ユーザー設定
- ・グループ設定
- ・DataNature フォルダーに、分析用データファイルが格納されている
- ・分析用データファイルには文字列比較による条件判定可能なデータの列が存在している

◆ DN クライアントツール

- ・クライアントモードで起動



ユーザー設定およびグループ設定については、S00-00「初期設定編」をご覧ください。



テーブルフィルターは、DN クライアントツールをスタンドアロンモードで起動した場合にはご利用いただけません。

4. テーブルフィルターの設定

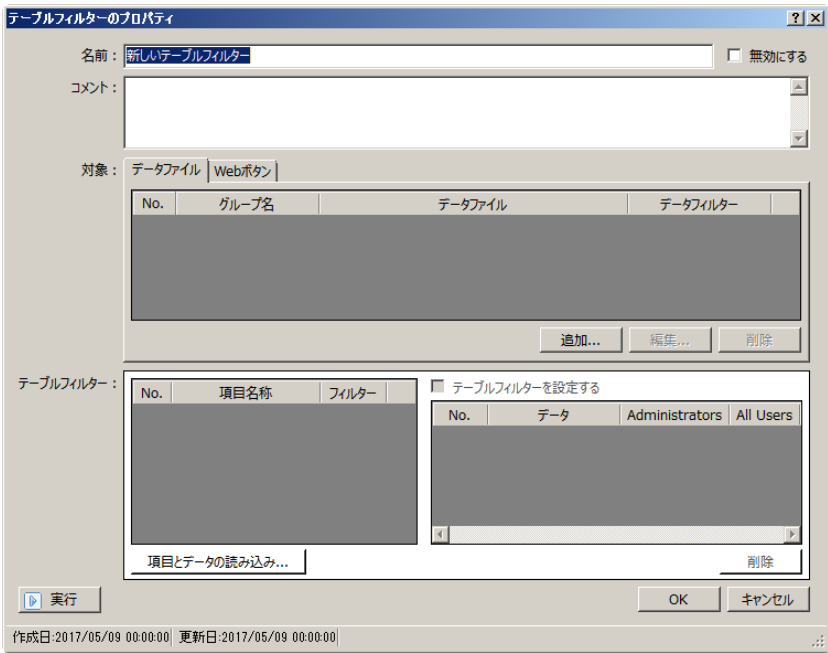
4-1 フィルター条件の設定

◆ データファイルの指定

テーブルフィルターを設定する対象のデータファイルを指定します。

- 1  DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[テーブルフィルター]ノードをクリックし、メニューバー[セキュリティ設定]-[新しいテーブルフィルター]をクリックします。([DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[テーブルフィルター]ノード上のコンテキストメニュー[新しいテーブルフィルター])

▼[テーブルフィルターのプロパティ]が表示されます。



テーブルフィルターのプロパティ

名前: 新しいテーブルフィルター ☐ 無効にする

コメント:

対象: データファイル Webボタン

No.	グループ名	データファイル	データフィルター

追加... 編集... 削除

テーブルフィルター:

No.	項目名称	フィルター

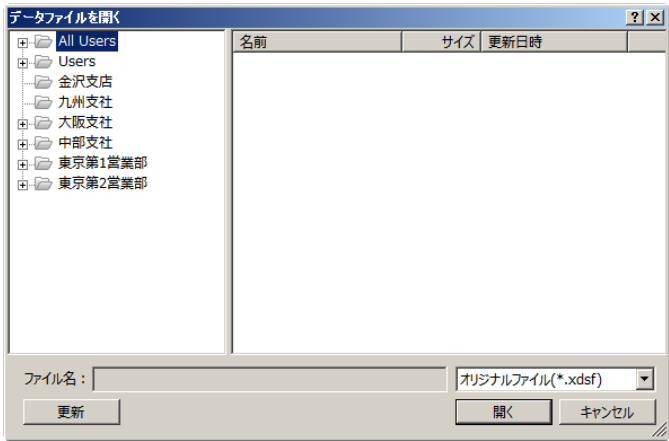
項目とデータの読み込み...

実行 OK キャンセル

作成日: 2017/05/09 00:00:00 | 更新日: 2017/05/09 00:00:00

- 2 [名前:]テキストボックスに、テーブルフィルターの名称を入力します。
- 3 [コメント:]テキストボックスに、テーブルフィルターの説明などを入力します。
- 4 [対象:]欄で、このテーブルフィルターを適用するデータファイルを指定します。
[追加]ボタンをクリックします。

▼[データファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。



データファイルを開く

名前	サイズ	更新日時

ファイル名: オリジナルファイル(*.xsd)

更新 開く キャンセル

- 5 データが格納されているグループフォルダーを開き、データファイルを選択します。

▼ここでは、All Users¥Data 配下の CSV ファイルを選択します。



指定できるファイルの種類は、テキストカンマ区切り(*.csv)、または、DataNature Smart オリジナルファイル(*.xdsf)の何れかです。[オリジナルファイル(*.xdsf) ▼] ボタンをクリックして、対象を切り替えて選択します。



任意のグループを登録し、テーブルフィルターを用いて公開データを制限する場合は、テーブルフィルターの対象とするデータファイルを All Users グループの DataNature Smart フォルダー配下に置くことをお勧めします。

6 [開く] ボタンをクリックします。



対象のデータファイル名をダブルクリックしても、ファイル選択→[開く] ボタン押下と同じ操作になります。

▼[テーブルフィルターのプロパティ] ダイアログボックスに戻ります。

選択したデータファイルが、[対象] 欄にリスト表示されます。

テーブルフィルターのプロパティ

名前: 営業実績 ☐ 無効にする

コメント:

対象: データファイル Web ボタン

No.	グループ名	データファイル	データフィルター
>	All Users	All Users¥Data¥販売実績.csv	-

追加... 編集... 削除

テーブルフィルター:

No.	項目名称	フィルター
1	売上日	-
2	部門コード	-
3	部門名	-
4	担当者コード	-
5	担当者名	-
6	顧客コード	-

項目とデータの読み込み...

テーブルフィルターを設定する

No.	データ	Administrators	All Users
1	未登録データ	☒	☐
2	空値データ	☒	☐
3		☒	☐

削除

実行 OK キャンセル

作成日: 2017/05/09 00:00:00 更新日: 2017/05/09 00:00:00



ひとつのテーブルフィルターを、複数のデータファイルで利用することができます。[追加] ボタンから、必要なデータファイルをひとつずつ追加してください。対象ファイルが複数となる場合は、条件定義する項目列の位置が同じであることが前提条件となります。

なお、[編集] ボタンをクリックすると、データファイルを選択し直すことが可能です。また、不要になったデータファイルは[削除] ボタンで、対象から削除してください。



[Web ボタン] タブをクリックすると、テーブルフィルターを適用する Web ボタンの設定ができます。Web ボタンにテーブルフィルターを適用する場合は、事前に Web レポート設定で Web ボタン用のジョブを登録しておく必要があります。



Web ボタン用のジョブ登録については、S01-14「Web レポート_設定編」をご覧ください。

◆ フィルター条件の定義

ここでは、以下の環境で、営業所別にデータを選別するフィルター条件を定義します。

グループ： 営業所別に設定。（各グループの DataNature Smart フォルダは初期値のまま）

データファイルの場所： C:\¥NJK¥DataNature Smart v4¥Server¥Public¥All Users¥Data

① 対象となるデータファイルの指定ができれば、フィルター条件を定義します。

▼フィルターの対象として、「部門名」を選択します。

No.	項目名称	フィルター
1	売上日	-
2	部門コード	-
3	部門名	-
4	担当者コード	-
5	担当者名	-
6	顧客コード	-

No.	データ	Administrators	All Users
1	未登録データ	☒	☐
2	空値データ	☒	☐
3		☒	☐

① 設定状況一覧

フィルター対象項目と設定状況を表示します。

② フィルター条件データ一覧

「設定状況一覧」で選択中の項目に存在するデータを要約して表示します。

② 「設定状況一覧」の下にある[項目とデータの読み込み...]ボタンをクリックします。

▼[項目とデータの読み込み]ダイアログボックスが表示されます。

項目とデータの読み込み

対象ファイル：

区分	ファイルパス
データファイル	All Users¥Data¥販売実績.csv

☒ 項目を読み込む
☐ データを読み込む
☐ 項目とデータを読み込む

OK キャンセル



定義対象となる項目とデータを読み込み、①設定状況一覧と②フィルター条件データ一覧の内容を更新します。

③ 「データを読み込む」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

▼「フィルター条件データ一覧」の内容が更新され、「部門名」のデータが表示されます。

No.	項目名称	フィルター
1	売上日	-
2	部門コード	-
3	部門名	-
4	担当者コード	-
5	担当者名	-
6	顧客コード	-

No.	データ	Administrators	All Users
1	未登録データ	☒	☐
2	空値データ	☒	☐
3	東京第1営業部	☒	☐
4	九州支社	☒	☐
5	広島支店	☒	☐



「フィルター条件データ一覧」に初期表示される「未登録データ」は条件設定時には存在していない今後発生するデータを指し、「空値データ」は NULL またはスペースだけのデータを指します。

④ 続いて「フィルター条件データ一覧」で、データとグループの関連付けを行います。

□ テーブルフィルターを設定する

No.	データ	Administrators	All Users	Mngr	Users	金沢支店	九州支社	広島支店	大阪支社	中部支社	東京第1営業部	東京第2営業部
1	未登録データ	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2	空値データ	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3	東京第1営業部	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4	九州支社	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5	広島支店	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

- ⑤ 「テーブルフィルターを設定する」をチェックオン後、関連づけたいデータとグループの交点にあるチェックボックスをチェックオンします。

☒ テーブルフィルターを設定する

No.	データ	Administrators	All Users	Mngr	Users	金沢支店	九州支社	広島支店	大阪支社	中部支社	東京第1営業部	東京第2営業部
1	未登録データ	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2	空値データ	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3	東京第1営業部	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐
4	九州支社	☒	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐
5	広島支店	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐
6	東京第2営業部	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
7	金沢支店	☒	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8	中部支社	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐
9	大阪支社	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐
10		☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐



「All Users」をチェックオンすると、グループに関係なく全てのユーザーで読み込み対象となります。

- ⑥ 定義が完了したら、[OK] ボタンをクリックし、テーブルフィルターの設定を完了します。



参照しているデータファイルにないデータは、直接テキスト欄に文字列を入力して設定することもできます。

1	金沢支店	☒	☐	☐	☐
8	中部支社	☒	☐	☐	☐
9	大阪支社	☒	☐	☐	☐
10	●●支社	☒	☐	☐	☐

4-2 テスト実行

設定したテーブルフィルターのテスト実行を行います。

- ① DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[テーブルフィルター]ノードにある、編集対象のテーブルフィルター名をクリックし、メニューバー[編集]-[プロパティ]をクリックします。
([DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[テーブルフィルター] ノードにある、編集対象のテーブルフィルター名上のコンテキストメニュー[プロパティ])

▼[テーブルフィルターのプロパティ]が表示されます。

テーブルフィルターのプロパティ

名前: ☐ 無効にする

コメント:

対象: データファイル Webボタン

No.	グループ名	データファイル	データフィルター
1	All Users	All Users*Data*販売実績.csv	-

追加... 編集... 削除

テーブルフィルター:

No.	項目名称	フィルター
1	売上日	-
2	部門コード	-
3	部門名	ON
4	担当者コード	-
5	担当者名	-
6	顧客コード	-

項目とデータの読み込み...

☐ テーブルフィルターを設定する

No.	データ	Administrators	All Users
1	未登録データ	☒	☐

削除

実行 OK キャンセル

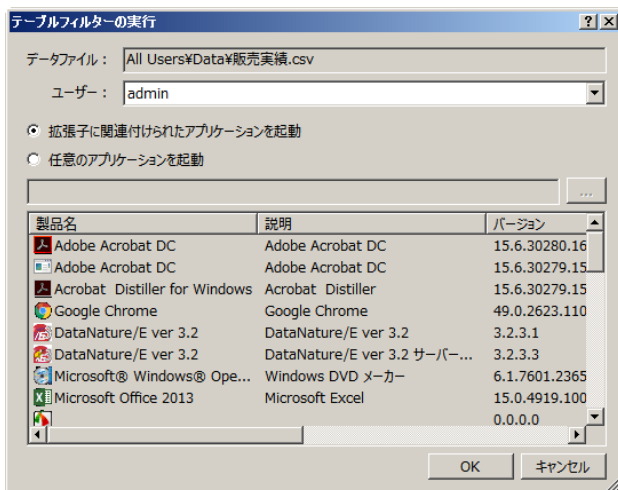
作成日: 2017/04/27 17:34:07 更新日: 2017/05/10 11:58:33



対象のテーブルフィルター名でダブルクリックしても、[テーブルフィルターのプロパティ]を表示することができます。

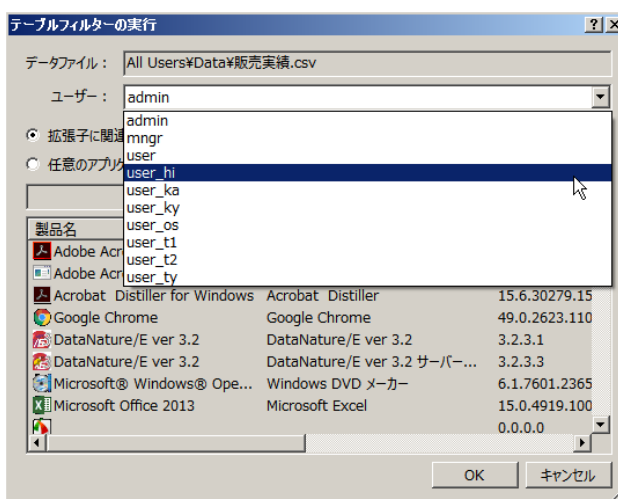
2 [実行]ボタンをクリックします。

▼[テーブルフィルターの実行]ダイアログボックスが表示されます。



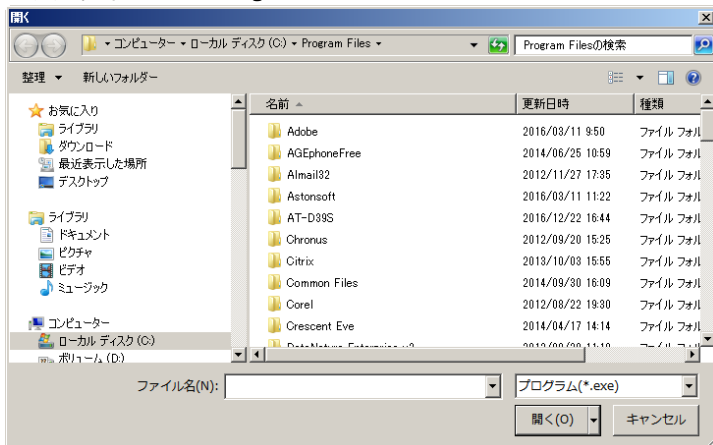
「拡張子に関連付けられたアプリケーションを起動」を選択した場合は、対象のデータファイルの種類によって起動するアプリケーションが決定します。

3 実行するユーザーをドロップダウンリストから選択します。



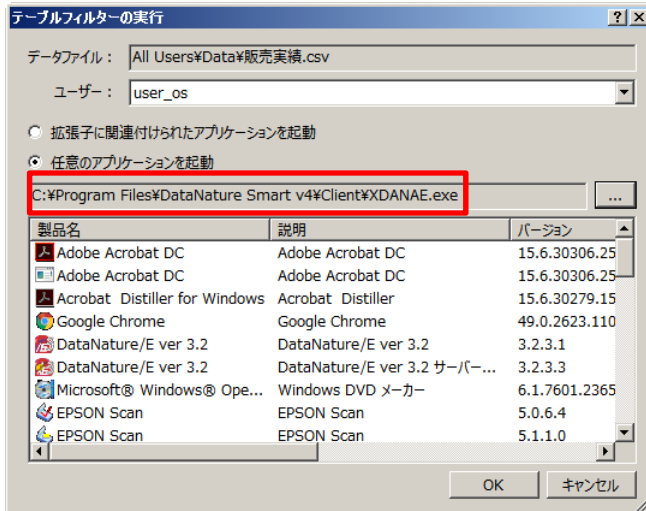
4 ここでは「任意のアプリケーションを起動」を選択し、参照ボタンをクリックします。

▼プログラムを開くダイアログボックスが表示されます。DN クライアントツールの実行形式ファイル(XDANAE.exe)を選択します。(標準パス:C:\Program Files\DataNature Smart v4\Client\XDANAE.exe)



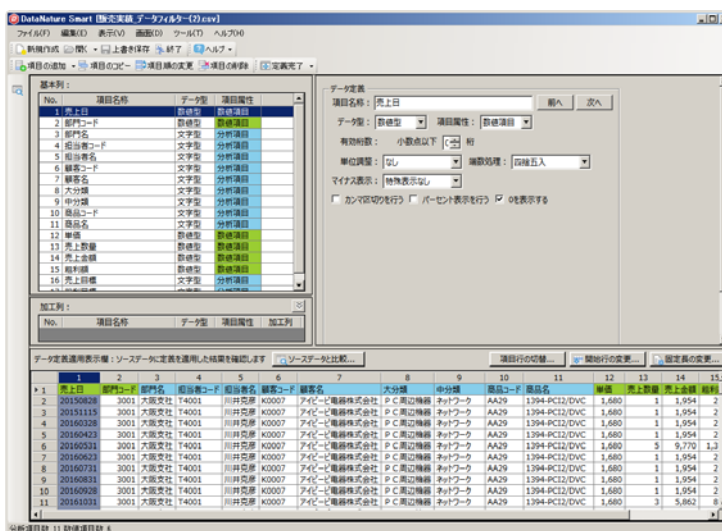
5 [開く]ボタンをクリックします。

▼[テーブルフィルターの実行]ダイアログボックスに戻ります。実行するアプリケーションのパスが表示されます。



6 [OK]ボタンをクリックします。

▼DN クライアントツールが起動し、指定したユーザーが所属するグループに許可されたデータが読み込まれます。



表示される[サーバーへの接続]ダイアログボックスで入力するユーザーの所属するグループは無視して、フィルターは実行されます。

4-3 設定済みの条件の編集

設定済みのテーブルフィルターを編集します。

- 1 DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[テーブルフィルター]ノードにある、編集対象のテーブルフィルター名をクリックし、メニューバー[編集]-[プロパティ]をクリックします。
([DataNature の管理]-[セキュリティ設定]-[テーブルフィルター] ノードにある、編集対象のテーブルフィルター名上のコンテキストメニュー[プロパティ])

▼[テーブルフィルターのプロパティ]が表示されます。

名前: 営業所別 ☐ 無効にする

コメント:

対象: データファイル Webボタン

No.	グループ名	データファイル	データフィルター
1	All Users	X All Users*Data*販売実績.csv	-

追加... 編集... 削除

テーブルフィルター:

No.	項目名称	フィルター
1	売上日	-
2	部門コード	-
3	部門名	ON
4	担当者コード	-
5	担当者名	-
6	顧客コード	-

項目とデータの読み込み...

☐ テーブルフィルターを設定する

No.	データ	Administrators	All Users
1	未登録データ	☒	☐

実行 OK キャンセル

作成日: 2017/04/27 17:34:07 更新日: 2017/05/10 11:58:33



対象のテーブルフィルター名でダブルクリックしても、[テーブルフィルターのプロパティ]を表示することができます。

2 編集後、[OK]ボタンをクリックします。

▼DN 管理ツールに戻ります。